

防犯灯に係る補助の見直しがされました

地域の方の要望をうけ、令和3年9月議会にて一般質問で取り上げた「自治会における防犯灯の維持管理について」、防犯灯にかかる補助の見直しが決定しました。10月より受付を開始しています。

補助項目	現制度		新制度(案)	
	適用	要件等	適用	要件等
交換 【LED灯→LED】	○	1灯上限 12,000円 (9H25～H19H迄)	—	—
取替 【LED→LED】	—	—	◎	1灯上限 22,000円
修繕	—	—	◎	1灯上限 5,500円×3灯 【センサー交換時】
新設	○	1支部予算上限 152,000円	◎	1灯上限 30,000円×2灯 【旧型LED灯に換装 600円×1灯】
電気料金	○	【LED】10W / 【蛍光灯】40W	○	【LED】10W / 【蛍光灯】40W

◀(新旧比較表)
補助制度の概要

市立幼稚園における給食が実施されます

▼スケジュール

園 人	モデル実施期間	本格実施	新規実施
枚方幼稚園	令和3年(2021年)10月	令和4年(2022年)10月～	
田口山幼稚園	～令和4年(2022年)9月		
蹴陀幼稚園			
高陵幼稚園			
香里幼稚園(新)			令和5年(2023年)10月～
樟葉幼稚園(新)			

意見 この度の幼稚園給食事業については、既にある施設や、今いる人員を最大限に活用することで、新規事業を非常に低コストで実施されている。また、認定こども園は、保育所機能と幼稚園機能が両方備わっており、様々な保護者のニーズに応えられる施設であると考えておりますが、幼稚園給食の本格的な実施は、認定こども園化の検討などにそのノウハウの活用が可能では。予算委員会では、現在、運営されている公立幼稚園や公立保育所を、認定こども園化するには課題があるとのことだが、利用者にとってよりよい仕組みの検討を要望。

取替・修繕

取替 LED防犯灯の取替に係る費用について:年度予算範囲内で、1灯あたり上限額22,000円

修繕 LED防犯灯の修繕に係る費用について:センサー交換のみを対象とし、1灯あたり上限額5,000円、1支部あたり年間3灯分まで

新設

LED防犯灯の新設に係る費用について:1灯あたり上限額30,000円、1支部あたり年間2灯分までとし、専用柱が必要な場合は1支部あたり年間1本分60,000円を上限額として加算。

制度の適用開始日

令和4年(2022年)4月1日以降に取替・修繕したものを対象とし、新設については、令和5年(2023年)4月1日から対象とする。

市長公約でもある中学校の全員給食について、スケジュールが公表されました

今後の中学校給食に関する方針(案) 4

年度	概 要	備 考
令和4年度	8月 今後の中学校給食に関する方針(案)作成 PPP/PEI手法、整備用地等の検討 9月 パブリックコメントの実施(今後の中学校給食に関する方針(案)) 今後の中学校給食に関する方針(案)作成 12月 今後の中学校給食に関する方針 策定 実施計画等の策定 PPP事業の可成地調査に係る債務負担行為の策定 提案(12月議会)	
令和5年度	【PFI事業(新調理場)】 4月 可能性調査の実施	【中学校・第一小学校給食共同調理場】 4月 配膳室調査・各学校調整 先行導入校での全額給食実施に向けた調整 11月 第一小学校給食調理場調理配膳等委託(R6.8)
令和6年度	5月 事業遂行 6月 新調理場 設計・建設	6月 第一小学校給食共同調理場 設計・改修 10月 配膳室設計
令和7年度	12月 開設準備	7月 配膳室改修 開設準備 8月 先行導入校へ全員給食 実施
令和8年度	4月 または 8月 全員給食の実施	

※実施月は変更となる場合がございます。

意見

令和3年12月定例会議の一般質問より
教育の一環でもある学校給食の無償化は、フラットな教育環境につながるものであることから、段階的であっても全員給食を目指すのはもちろんのこと、給食の無償化の実現に向けて検討していただきたいと要望。

枚方市議会議員

市政報告 Vol.09

門川ひろゆき

魅力を感じるまち・選んでもらえるまち枚方

～成長を確かなものにし、持続的発展が可能なまち「枚方」であり続けるために～

編集・発行 門川 紘幸 / 令和4年10月発行 / 枚方市中宮山戸町14-50 / 070-3280-2655



ご挨拶

令和4年9月議会が終わりました。ロシアによるウクライナ侵攻や円安の進行などの影響による電気・ガス・生活必需品などにも及び価格高騰が、コロナ禍で経済的に厳しい環境に置かれた市民や、中小・小規模事業者などに大きな影響を及ぼしております。議会でも様々な支援策について議論され、いくつかの要望が実現いたしました。ひきつづき市民の皆様の声をしっかりとして受け止めて全力で活動してまいります。

「コロナ禍における原油価格・物価高騰対策についての緊急要望書」を提出

① すべての子育て世帯への給付

コロナ禍における物価高騰の影響を大きく受ける、すべての子育て世帯を支援するため、市独自で給付金を給付

実現 1万円のギフトカード支給が決定

② 一定期間の小学校給食費免除

学校給食については、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食を実施するとともに、小学校給食については、すべての児童に対して、一定期間、給食費を免除

③ 幼稚園・保育園・高齢者施設等の送迎者燃料費支援

幼稚園や認定こども園、保育園、介護施設や障がい者施設、福祉施設等において、送迎車のガソリン代をはじめとする燃料費の負担軽減のため、支援を要望



意見

学校給食について

コロナ禍や物価高による家計の経済的な負担を軽減しようと、学校給食の無償化に乗り出す自治体が相次いでいます。(大阪府下でも、大阪府は令和4年度中の市立小中学校給食費免除、堺市は市立小学校給食無償化(2学期中)、高槻市では市立中学校で今年度から所得制限を設けずに全面的な無償化に踏み切りました。)今回、一定期間の小中学校給食費免除について要望書を提出。子育て支援は国で一律であるべきで、自治体の決断や財力に依存するのではなく、国も負担する形で全国的な取り組みが必要と考えます。

決定

9月定例会議会で18歳以下の子ども1人当たり1万円のギフトカードを支給という形で補正予算案に反映

大阪府庁にて、市の課題について意見交換

POINT 重点4項目

- 1 ため池整備事業の促進について
- 2 枚方市駅周辺再整備について
- 3 京阪本線連続立体交差事業について
- 4 加配教員の配置について

その他意見交換・要望事項

⑤横断歩道などの規制表示の更新について ⑥福祉医療制度について ⑦特定医療費(指定難病)支給認定申請手続きに必要な証明書等添付書類の簡素化について ⑧既設道路の交通安全をはじめとする改良等について ⑨流域下水道事業の運営について ⑩児童・生徒の心身の健康維持のための人的措置について ⑪支援教育の拡充について ⑫学校トイレ洋式化への整備にかかる支援について ⑬子ども子育て支援新制度について ⑭動物愛護行政の拡充について



門川ひろゆき



家族構成 母、妻、長女(10歳)、長男(7歳)

経歴 1983年生まれ。きよし幼稚園、中宮小学校、中宮中学校、四條畷高等学校卒業。維新政治塾第4期最優秀塾生。日本大学法学部政治経済学科卒。

現在

- 枚方市議会議員(2019年5月より)
- 大阪維新の会枚方市議会議員団
- 市民福祉常任委員会委員
- 枚方市都市計画審議会委員
- 民生委員推薦会委員
- 一般社団法人枚方青年会議所理事
- 水都くらわんか!花火大会実行委員

市政に関するお問い合わせ

☎ 070-3280-2655
✉ info.kadokawahiroyuki@gmail.com
🌐 https://h-kadokawa.jp/

住所

〒573-8666
枚方市大垣内町2-1-20
枚方市役所4階 大阪維新の会枚方市議会議員団

SNSも運用中!



待機児童対策としての臨時保育室が開設されました

令和4年度大阪府枚方市一般会計補正予算
臨時保育室経費の開設準備金補助金についての質疑

本年6月の定例会議会において、「**国定義の待機児童が発生したという事実を受け止め、効果的な対策を実施していただくよう**」を要望しておりましたが、**保育需要の高い樫葉エリアに、国・府の財源を活用した、臨時保育室が開設されることになりました。**(今回の改修内容：取り外し可能なパーテーションの設置や、遊戯室にトイレを設置することで保育室等に戻ることなくトイレを利用できる、給食の配膳スペースが広がる、空調の更新など。)

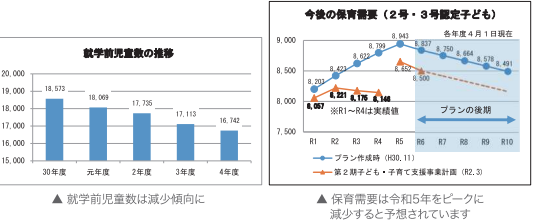
更に、6月定例会議会での答弁にあった、**本年度中に保育の目標事業量の見直しを行うこと、臨時保育室の無い東部エリアへの対策も引き続き取り組んでいただくこと**を引き続き要望。

「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」における後期プラン(案)について

昨年の教育子育て委員協議会副委員長時、市民の方から公立保育所の民間への移行に対する不安・心配の声をいただき、様々な形で要望をしてきましたが、この度策定された後期プラン(案)の「**公立施設の整理・集約の考え方**」に、一部意見が反映されました。

公立施設の整理・集約

- ① 幼稚園機能を有する公立施設、保育所機能を有する公立施設は、各エリアに少なくとも1か所ずつ配置
- ② 公立施設の役割を担う施設の数や場所については、各施設と連携のとりやすい位置や施設の状態に加え、各エリアにおける就学前児童数や将来推計なども勘案し検討
- ③ 将来的に閉園する方針となった公立施設については、**教育・保育の量的ニーズの減少傾向が明らかとなった際に、閉園時期等の詳細を個別に検討し、方針決定時の在園児が卒園するまで適切な期間を設けるなど、児童やその保護者に十分配慮**することとする
- ④ 公立小規模保育事業実施施設については、今後の0～2歳児の保育需要の動向を踏まえ、施設のあり方を検討
- ⑤ **公立施設の認定こども園化については、本市における認定こども園の必要性や課題を整理するとともに、幼稚園機能、保育所機能を有する公立施設の統合・移転を伴う整備の可能性も視野に入れ、今後の方向性を検討**



意見 少子化の影響から児童数は減少傾向にあり、今後の保育需要の減少時期も見据えた公立施設のあり方を考える一方で、利用する児童・保護者へも十分に配慮して、方針を決定していくべきと考えます。

【現状】 (単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
くずは光の子保育園(分園)		10	10				20
すだち保育園		6	6				12
樫葉幼稚園				25	35	35	95

【R5年(2023年)4月以降(予定)】 (単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
くずは光の子保育園(分園)		10	10				20
臨時保育室				15			15
すだち保育園		9	10				19
樫葉幼稚園				30	35	35	100

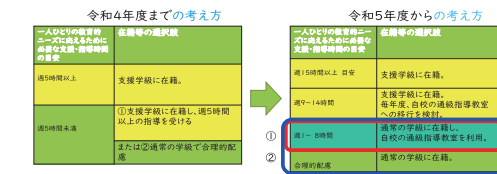
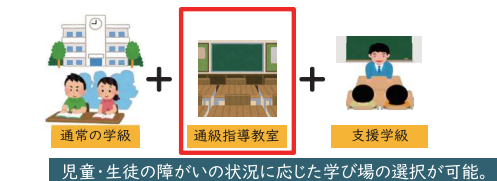


支援教育についての、令和5年度から学びの場を選択する方針は撤回に

7月に大阪維新の会枚方市議会議員団から要望書を提出していた「今後の枚方市の支援教育の方針」については、**新たな方針のもとで、すべての児童生徒が令和5年度から学びの場を選択することとした方針については撤回**となり、保護者や児童生徒の気持ちに寄り添って学びの場の選択が行えるよう、改めて保護者等に説明を行い、就学相談を行うこととなりました。

令和6年度からの運営に向けて、令和5年度に必要な環境整備として報告があったもの

- ① 自校通級指導教室の設置(中学校全校に設置、小学校については、対象児童数や余裕教室数などを勘案しながら、4地域にそれぞれ他の小学校のモデルとなるよう、複数校設置)
- ② 特別支援教育支援員の配置
- ③ 支援教育の環境整備 など。



意見 今回、支援教育の大きな運用変更にも関わらず、十分な議論や、しっかりとした方針が定められることもなく、また学校現場での運用変更への理解が進まない中、拙速に学校や保護者等に対して文書が配布され、現場や保護者、そして当事者である子どもたちに不安を与えてしまいました。学校現場や保護者への十分な情報提供・丁寧な説明を行い、十分な理解を得た上で、児童生徒一人一人の教育的ニーズを大切に支援教育が必要です。

一般質問

安全・安心で快適な住環境の整備!

『資源ごみの持ち去り行為』対策の強化を!!

児童の集団登校が行われている時間帯に繰返し、資源ごみ等の持ち去り行為が行われているという相談があった。他市の事例でも、通学時間帯の持ち去り行為者の車の危険走行など全国的な問題になっている。

要望 住民の声に対し、警察署と連携しながら、**罰則の強化、持ち去り行為をすることに行業者がリスクを感じるような抑止力の強化、情報発信の工夫**など、早急な対策を。

行財政改革の推進!

枚方市役所の適切な人材配置及び組織運営の実現を!

市全体の組織力を高めていくためには、適材適所でその人材を生かせるポジションや、職員間の関係性や連携の強化に加え、部署間でも助け合うことのできるしくみが必要では。

要望 令和4年度からは機構改革の権限が総務部に移管されており、今後は、いわゆる縦割り型組織に横串を入れるという観点も踏まえながら、組織と人のバランスを考慮した職員配置となるのではないかと期待しているところである。中長期で見たときの組織編成も含めて、よりよい職員配置、組織運営の実現を。

枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!

ひらかた万博の機運醸成の取り組みと地域活性化を!

2025年大阪・関西万博に向けて、「ひらかた万博」という市独自の取り組みについて質問。

要望 淀川河川公園では「水都くらわんか花火大会」が行われ、広く「枚方」が認知された。このように誰もが主役となって活動する取り組みがますます広がることで、「市域全体がバリエーション」と化し、市内外の方々のまちへの関心や愛着を高め、地域経済が活性化されるといふ、「ひらかた万博」の目的に繋がるものとする。2025年以降も枚方市のレガシーにつながる取り組みを。

枚方市駅前再開発における「市役所の位置に関する一部条例の改正について」の採決が行われ、賛成18票、反対12票で否決に

この議案は、地方自治法第4条2項の定めにより、出席議員の3分の2の賛成を必要とする特別多数議決となっており、記名投票の採決で、賛成の議員が可決に必要な20人に届かず否決。(大阪維新の会枚方市議会議員団は、本議案に賛成。) 今回の位置条例の否決により、枚方市駅再整備については、一旦立ち止まり、再度どのように進めていくかの議論をおこなうこととなりました。

「子育て」を枚方のブランドに!

子ども医療費助成、18歳まで拡充を!!

現在、枚方市では、子ども医療費助成制度の対象年齢は15歳まで。一方で、大阪府内43市町村のうち28市町村、また、府内中核市7市の中では、枚方市を除く全ての市において、子ども医療費の助成対象年齢は18歳までに拡大されている。さらに、大阪府内では隣接の交野市の他、泉佐野市、泉大津市、高石市が、今年の10月から18歳まで拡大すること。

要望 本来は国や府が取り組むべきであるとの市の主張も理解するが、周辺他市が拡大していく中、**子育て世帯が安心して暮らせる枚方市をPRしていく為にも、早期に子ども医療費助成の展望を!**

枚方の地域活性化をはかり、「成長」を推進!

移動販売の実証実験の分析結果を枚方の地域活性化へ活用を!

ニッパークや王仁公園、東部公園における、キッチンカーなどによる移動販売の実施について、出店されていた事業者さんから、実証実験だからなのか市の職員さんとの関わりが弱く、信頼関係を失う原因になりかねないという声があった。

要望 まず、今回の移動販売の実証実験の分析結果は、出店に協力して頂いた事業者の方々へも、今後のビジネス展開に繋げていただくよう、情報提供を。また、今回の移動販売の実証実験については、東部地域の活性化へ繋げていくことはもとより、「くらわんか五六市」など枚方市駅周辺のイベントの盛り上がりや、市駅周辺のエリアマネジメントにおいても活用できると考え庁内で連携し取り組んでほしい。

枚方市駅周辺再整備について

④⑤街区における再整備に合わせて、周辺地域の活性化を図っていくための地域との連携について質問。

要望 枚方市駅周辺再整備について、短期的には物価高騰問題、中長期的には少子高齢化による経済成長力の停滞や社会保障費の増大など不安材料があるなか、大きな財源を動かし再開発をすすめていく訳で、本市の魅力の向上にどうつなげていくかというところを綿密に考えていただきたい。私個人的には、北河内全体をひっぽって、まさに中心地が枚方市駅周辺と考えている。そうしたポテンシャルや市としてのメッセージが伝わるようなコンテンツの誘致・取り組みを。

